

## 開催主旨

### 「『建設産業』の未来へ向けて」

日本青年会議所 建設部会 部会長 田中勝久

現在、経済・社会が大きく変化し始めています。建設産業も「氷河期」から再編・淘汰と変化し、いま新たな局面を迎えています。市場が分散し、多様化、複合化するにつれて、われわれの競合関係は複雑になり、競争はいまや「変化」との戦いとなってきているようにさえ感じます。変革期にある建設産業に、今求められていることは何かを感じとり、行動するときだと考えます。

今般、『建設産業』の未来へ向けて、建設業の力を活かして「変化」に打ち勝とうと挑戦し、行動する全国各地のトップランナーである建設経営者の皆さまが一堂に集い、「建設トップランナーフォーラム」が開催されます。

このフォーラムは、全国各地の建設経営者の皆さまが、地域格差という厳しい環境の中、地域の活性化へ向けたそれぞれの取り組み、実践から相互に多くのことを学ぶ機会となるものです。新しい発見と出会い、そして、多様なつながりを構築する場であると共に、『建設産業』の未来について考えるすばらしい機会にもなると確信しています。そのような集いに、「建設トップランナーフォーラム」の関係者の皆さまと共に参加させて頂きますことを感謝申し上げます。

われわれ青年会議所（JC）は日本全国714の地域、約43,000人で構成された「明るい豊かな社会」の実現を目指す20歳から40歳までの青年の団体です。そして、日本青年会議所 建設部会は、JCの分科団体として建設産業に関連のある会員が集う全国24の建設クラブ、約1,260名の会員が所属し、各地建設クラブからの出向者によって構成されております。全国各地の仲間たちは、それぞれ厳しい経営環境の中で、それぞれの地域の未来、そして次代へ繋がる活動を継続しています。しかしながら、まだまだ各地方の声が響いていないのが現状です。全国各地の建設経営者の皆さまと同じく、われわれ日本青年会議所 建設部会の仲間たちも業界の景気低迷からの打開策を求めて日々活動しております。

建設産業は地域社会へ貢献できる、受け継がれてきた「技術」を持ち合わせています。われわれはビジネスという大きな枠の中で、高い志のもと、地域社会へ貢献できる産業であるという誇りと自信を忘れることなく、「建設トップランナーフォーラム」を通して取り組むべき課題を見だし、これからも地域産業の活性化へ向けて次代へ繋がる活動につなげていきたいと思えます。